岡山醫科大學助教授　大田原一祥
職務俸金五百四拾圓下賜

東京帝國大學教授　荒木光太郎
農學部兼經濟學部勤務ヲ免シ經濟學部兼農學部勤務ヲ命ス
農政學、經濟學第一講座擔任竝經濟學第二講座分擔ヲ免シ經濟學第三講座擔任竝農政學、經濟學第一講座兼擔ヲ命ス

公立中學校教諭　平山　誠
兵庫縣立第一神戸中學校教諭ニ補ス（以上六月十八日同）

東京帝國大學教授　渡邊　浩一
學術上取調ノ爲竝學術實地指導ノ爲福岡縣下及臺灣ヘ出張ヲ命ス（六月十八日東京帝國大學）

營林署技師　伊東遊龜尾
十級俸下賜
臼田營林署在勤ヲ命ス（六月十八日農林省）

絹業試驗所技師　小池　滋
同　鈴木　三郎
（各通）
十級俸下賜（六月十八日商工省）

農林書記官　周東　英雄
文官普通分限委員會委員ヲ命ス

商工書記官　東　榮二
文官普通分限委員會豫備委員ヲ命ス
普通試驗委員ヲ命ス
文官普通懲戒委員ヲ命ス

臨時産業合理局事務官　東　榮二
臨時産業合理局文官普通懲戒委員ヲ命ス（以上六月十八日同）

樺太廳技師　松野　國治
十一級俸下賜（六月十八日拓務省）

臺北州知事　野口　敏治
岩手、秋田兩縣ヘノ出張ヲ免シ東京府外二縣ヘ出張ノ序ヲ以テ朝鮮、滿洲國ヘ出張ヲ命ス（五月二十六日臺灣總督府）

臺灣總督府技師　吉良　義文
中華民國及英領香港、葡萄牙領澳門ヘ出張ヲ命ス（六月十八日同）

臺灣建築技師　篠原　武男
臺北州建築技師ニ補ス

臺灣總督府州警察醫　枦山　盛政
七級俸下賜
高雄州勤務ヲ命ス（以上六月十八日同）

樺太廳醫院醫官　瀬尾　道眞
豐原醫院勤務ヲ命ス

同　加藤　謙一
眞岡醫院勤務ヲ命ス（以上五月三十一日樺太廳）

地方農林技師　工藤　幸吉
九級俸下賜

同　田中　英男
十級俸下賜（以上六月十八日北海道廳）

公立實業學校教諭　中村　照存
七級俸（當分千五百六拾圓）下賜

公立學校職員年功加俸令ニ依リ昭和十年六月十日ヨリ年功加俸年額金百壹圓下賜（六月十八日栃木縣）

公立高等女學校教諭　川嶋　昌介
公立學校職員年功加俸令ニ依リ昭和十年五月三十日ヨリ年功加俸年額金百四拾四圓下賜（六月十八日同）

公立高等女學校教諭　天守　正隆
公立學校職員年功加俸令ニ依リ昭和十年四月十日ヨリ年功加俸年額金貳百五拾貳圓下賜（六月十八日滋賀縣）

正　誤

去月八日本欄二二八頁一段渡部雄佐ノ敍位ハ報告誤ニ付取消ス

宮内事務官

宮廷録事

◎**幣帛下賜**　海軍軍醫少將於保熊雄卒去ニ付一昨十七日幣帛ヲ下賜セラレタリ

彙報

○官廳事項

◎**處務規程中改正**　岡山縣ニ於テ本月三日處務規程中改正シ警察部ノ高等課ヲ廢シ警察部長書記室ヲ設置セリ

◎**官吏改姓**　海軍豫備機關少尉渡邊精一ハ昨九年十一月二十七日田代ト、同豫備少尉福原秋男ハ本年二月二日高見ト、同大森滋ハ同二十三日和田ト孰モ改姓セリ

◎**失官**　後備役陸軍歩兵少尉横田鮭撓水ハ公文書僞造行使收賄罪ニ因リ懲役一年（但シ二年間刑ノ執行猶豫）ニ處スルノ裁判確定シ昨九年七月二十三日失官ト爲レリ

◎**官吏死去**　海軍豫備機關少尉正八位角田三郎ハ昭和五年六月二十日、同豫備機關特務少尉正八位中村虎一ハ同八年五月二十四日、同豫備機關少尉正八位稲浦文一ハ昨九年三月十四日、同豫備機關中尉從七位新納嘉一ハ同十二月三日、同從七位前田賓ハ同六日、同豫備特務少尉正八位原田滿八ハ本年二月三日、同豫備少尉正八位西川司郎ハ同二十四日、退役同豫備大尉正七位齋藤克雄ハ同三月二十四日、海軍豫備機關特務少尉正八位渡邊恭八ハ同四月二十一日、同豫備特務少尉正八位宮木義衛ハ去月二十日孰モ死去セリ

○警察

◎**豫約出版屆出事項中變更**　本年二月八日中澤守三郎ヨリ警視廳ヘ屆出テタル「國際人事信用録」ノ豫約出版事項中題號ヲ「日滿商工録」ニ變更セリ（警視廳）

◎**豫約出版履行**　昨九年七月十二日土屋義衞ヨリ警視廳ヘ屆出テタル「日本醫籍録」ノ豫約出版ハ之ヲ履行シタル旨屆出テタリ（警視廳）

○陸海軍

◎**陸軍運輸部淸津出張所設置**　陸軍運輸部淸津出張所ハ本月十日朝鮮淸津府ニ設置シ同日ヨリ事務ヲ開始セリ（陸軍省）

◎**簡閲點呼**　第六師管本年簡閲點呼施行日割左ノ如シ（陸軍省）

熊本縣

熊本市	七月十七日、同十八日、自同二十二日至同二十四日、八月十八日、同十九日、同二十四日
八代郡八代警察署管轄區内	自七月三十日至八月二日、同四日
葦北郡同	八月五日
宇土郡松橋同	八月六日
下益城郡同	八月七日、同八日
同砥用同	八月十四日
上益城郡濱町同	自八月十五日至同十八日
阿蘇郡馬見原同	八月十九日
飽託郡南同	七月二十五日、自八月二十三日至同二十五日
菊池郡植木同	七月二十日
鹿本郡同	七月二十一日、同二十二日
菊池郡隈府同	自七月二十三日至同二十七日
阿蘇郡高森同	自八月一日至同三日
同宮地同	八月四日、同七日、同八日
同小國同	八月五日、同六日
飽託郡北同	六月二十八日、八月十七日
菊池郡大津同	八月二十五日、同二十六日
阿蘇郡同	八月二十七日
上益城郡御船同	自七月二十四日至同二十八日
下益城郡宮原同	八月四日
八代郡同	自八月五日至同八日、同十日
球磨郡人吉同	自七月三十日至八月三日、同十二日、同十四日
葦北郡佐敷同	八月十五日、同十八日、同十九日
同水俣同	八月十六日、同十七日
鹿本郡山鹿同	自八月二十二日至同二十七日
下益城郡宇土同	七月二十六日
宇土郡同	七月二十七日
同三角同	七月二十八日、同二十九日
天草郡同	八月九日、同十日、同十一日
同今津同	七月三十一日、八月一日、同十二日
同本渡同	自八月二日至同四日、同十三日、同十四日、自同十八日至同二十一日
同富岡同	自八月五日至同七日
同牛深同	自八月九日至同十二日
玉名郡高瀬同	自八月十四日至同十七日、自同二十二日至同二十四日
同荒尾同	自八月十八日至同二十日
同南關同	自八月二十五日至同二十七日
飽託郡川尻同	自七月十九日至同二十二日
下益城郡同	七月二十三日
球磨郡多良木同	自七月二十七日至同二十九日
飽託郡木山同	八月二十五日
上益城郡同	八月二十六日、同二十七日

大分縣

大分市	八月二日、同三日
別府市	八月二十三日、同二十四日
中津市	八月十二日、同十三日
大分郡大分警察署管轄區内	七月十七日、自八月八日至同十日、同十二日
大野郡同	八月十一日
宇佐郡四日市同	自八月六日至同十日
下毛郡中津同	自八月十四日至同十七日、自同十九日至同二十一日
玖珠郡森同	自八月二十二日至同二十五日
速見郡別府同	七月三十日、同三十一日
大野郡佐伯同	八月一日
南海部郡同	自八月二日至同四日、同六日、同七日、同九日、同十三日、同十五日、同十七日、同十九日
速見郡日出同	自八月十四日至同十六日
宇佐郡長洲同	八月十七日、同十八日
西國東郡高田同	八月十九日、自同二十一日至同二十四日
東國東郡國東同	八月二十五日、同二十六日、自同二十八日至同三十一日
北海部郡臼杵同	七月二十八日、自同三十日至八月四日
同佐賀關同	八月六日、同七日
同鶴崎同	八月八日
大分郡同	自八月九日至同十二日
速見郡杵築同	八月十五日、同十六日
直入郡久住同	八月十九日、同二十日
同竹田同	自八月二十一日至同二十三日
大野郡三重同	自八月二十五日至同二十九日
同犬飼同	八月三十日、同三十一日

宮崎縣

宮崎市	自八月四日至同六日
都城市	八月一日、同二日
延岡市	自八月十日至同十二日
西臼杵郡高千穂警察署管轄區内	自八月一日至同五日
東臼杵郡延岡同	自八月六日至同八日、自同十三日至同十七日
西臼杵郡富高同	八月一日、同二日
東臼杵郡同	自八月三日至同七日
兒湯郡高鍋同	自八月九日至同十二日
同妻同	自八月十三日至同十六日
宮崎郡宮崎同	自八月一日至同三日、自同七日至同九日
東諸縣郡高岡同	自八月十一日至同十四日
西諸縣郡小林同	自八月十五日至同二十一日
北諸縣郡都城同	七月十四日、自八月三日至同九日
南那珂郡飫肥同	自八月十一日至同十四日
同油津同	八月十五日、同十六日
同福島同	自八月十七日至同十九日

鹿兒島縣

鹿兒島市	自八月二十四日至同三十一日
鹿兒島郡鹿兒島警察署管轄區内	六月二十二日、同二十三日、七月一日、同二日
同谷山同	六月二十八日、同二十九日
薩摩郡宮之城同	自八月四日至同八日
同川内同	自八月十日至同十六日
同甑島同	自八月十八日至同二十日
伊佐郡大口同	自八月二十三日至同二十五日
囎唹郡志布志同	自七月七日至同十日、同十四日
同岩川同	七月十一日、同十二日
同末吉同	七月十五日、同十六日
姶良郡加治木同	自七月二十五日至同三十日
同國分同	七月三十一日、自八月二日至同五日
同横川同	自八月六日至同九日
出水郡出水同	自八月二十二日至同二十五日
同阿久根同	八月二十六日、自同二十八日至同三十日
大島郡大島同	自六月十五日至同十七日、七月四日、自同七日至同十日
同沖永良部同	六月十九日、同二十日
同徳之島同	六月二十二日、自同二十四日至同二十六日
同古仁屋同	自六月二十八日至同三十日、七月一日、同二日
同喜界同	七月六日
肝屬郡大根占同	自七月十二日至同十五日
同鹿屋同	七月十六日、自同二十日至同二十二日
同垂水同	七月十七日、同十八日
同柏原同	七月二十三日、同二十四日、同二十六日
日置郡伊集院同	自八月一日至同五日
同伊作同	自八月六日至同八日
同市來同	自八月十日至同十三日
揖宿郡指宿同	八月十六日、同十七日、同二十日、同二十一日
同頴娃同	八月十八日、同十九日
川邊郡知覽同	七月八日
同枕崎同	七月九日
同加世田同	自七月十日至同十三日
熊毛郡種子島同	自七月二十一日至同二十三日
同屋久島同	七月二十五日、同二十六日、同二十八日

沖繩縣

首里市	八月二十三日、同二十四日
那覇市	自八月二十五日至同二十七日
國頭郡名護警察署管轄區内	自七月六日至同十三日
同渡久地同	七月十四日、同十五日、同十七日
島尻郡那覇同	五月二十九日、六月八日、同九日、同十七日、同十八日、同二十七日、同二十八日、八月一日、同二日
中頭郡首里同	八月十三日、同十四日、同二十日
同嘉手納同	自八月十五日至同十九日、同二十一日、同二十二日
宮古郡宮古島同	自六月二十二日至同二十四日、同二十六日、同二十九日
八重山郡八重山島同	六月三十日、七月一日、自同七日至同九日
島尻郡與那原同	自七月二十六日至同二十八日
同糸滿同	自七月二十九日至同三十一日

◎**日本赤十字社録事**

職員異動　本月三日總領事佐藤庄四郎ハ滿洲委員部哈爾賓委員支部長ニ總裁載仁親王殿下ヨリ囑託ノ御沙汰アリタリ（陸軍省、海軍省）

○産業

◎**外國保險會社ノ日本ニ於ケル代表者變更**　「ローヤル、インシュランス、コンパニー、リミテッド」ハ其日本ニ於ケル代表者ジョージ、ビスプハムヲ解任シ東京市京橋區京橋一丁目二番地七フレデリック、マイカル、オーハラヲ其後任トシテ選任シタル旨屆出テアリタリ（商工省）

◎**絹織物及人造絹織物産額概況**　商工省ノ調査ニ係ル昭和十年四月ノ全國絹織物及人造絹織物産額概況左ノ如シ（商工省）

昭和十年四月ニ於ケル本邦絹織物產額ハ總額三二、一四三、〇九三圓內廣幅物一〇、五五二、〇一一圓（三割二分八厘）、小幅物二〇、三五〇、〇八八圓（六割三分三厘）、特殊物一、二四〇、九九四圓（三分九厘）ノ割合ニシテ之ヲ前月ニ比スレハ九八一、二二四圓（三分一厘）ヲ增加シ前年同月ニ比スレハ四、九四〇、八三四圓（一割八分二厘）ヲ增加セリ　尙ホ之ヲ種類別ニ觀ルニ廣幅物ニ於テ產額ノ最モ多キハ縮緬及壁ニシテ總額ノ內四、一九九、八八三圓（一割三分一厘）ヲ占メ之ニ次クハ富士絹二、四二九、九九八圓（七分六厘）、羽二重及生絹縮于一、三一七、九六一圓（四分一厘）ナリ　又小幅物ニ於テ產額ノ最モ多キハ縮緬（壁ヲ含ム）ニシテ總額ノ內九、一四三、一三四圓（二割八分四厘）ヲ占メ銘仙及縮織三、九一一、九九六圓（一割二分二厘）、生織絹及紗一、九九七、三八五圓（六分二厘）、御召（壁ヲ含ム）一、四八五、一一三圓（四分六厘）、羽二重一、〇九七、七八七圓（三分四厘）之ニ次キ　其他ハ百萬圓未滿ナリ　而シテ之ヲ地方別ニ觀レハ京都最モ多ク總額ノ內七、七三五、四七七圓（二割四分一厘）ヲ占メ之ニ次クハ福井ノ四、六一六、一九二圓（一割四分四厘）トシ　以下石川、東京、群馬、新潟、埼玉、栃木、岐阜、滋賀ノ順位ニシテ其他ノ地方ハ何レモ百萬圓未滿ナリ

人造絹織物　（絹トノ交織ヲ含ム）ニ於テハ總額一七、八四三、八六二圓內廣幅物一一、四四三、二四三圓（六割四分一厘）、小幅物四、〇七三、四三七圓（二割二分八厘）、特殊物二、三三二、一八二圓（一割三分一厘）ノ割合ニシテ之ヲ前月ニ比スレハ五六二、五三四圓（三分一厘）ヲ減少シ前年同月ニ比スレハ一、六三〇、八五五圓（一割一厘）ノ增加ト爲レリ　而シテ之ヲ地方別ニ觀レハ產額ノ最モ多キハ福井ニシテ總額ノ內六、〇四四、六一八圓（三割三分九厘）ヲ占メ之ニ次クハ群馬ノ三、〇八六、七〇五圓（一割七分三厘）トシ以下石川、京都ノ順位ニシテ其他ノ地方ハ何レモ百萬圓未滿ナリ

絹綿交織物ニ在リテハ總額二、三一二、五四九圓內廣幅物四割一分三厘、小幅物二割五分九厘、特殊物三割二分八厘ノ割合ニシテ之ヲ前月ニ比スレハ九〇、三〇八圓（三分八厘）ヲ減少シ前年同月ニ比スレハ三八一、一九一圓（一割九分七厘）ヲ增加セリ尙ホ毛ト人造絹トノ交織物ニ在リテハ總額三、五五七、〇九二圓ニシテ之ヲ前月ニ比スレハ二割八分四厘ヲ減少シ前年同月ニ比スレハ一割九分六厘ノ增加ト爲レリ其他ハ麻ト絹、毛ト絹、綿ト人造絹、麻ト人造絹ノ各交織物ヲ合シテ三、〇八九、三五〇圓ナリ尙ホ產額ヲ種類別ニ示セハ次ノ如シ

第 2537 号 本文